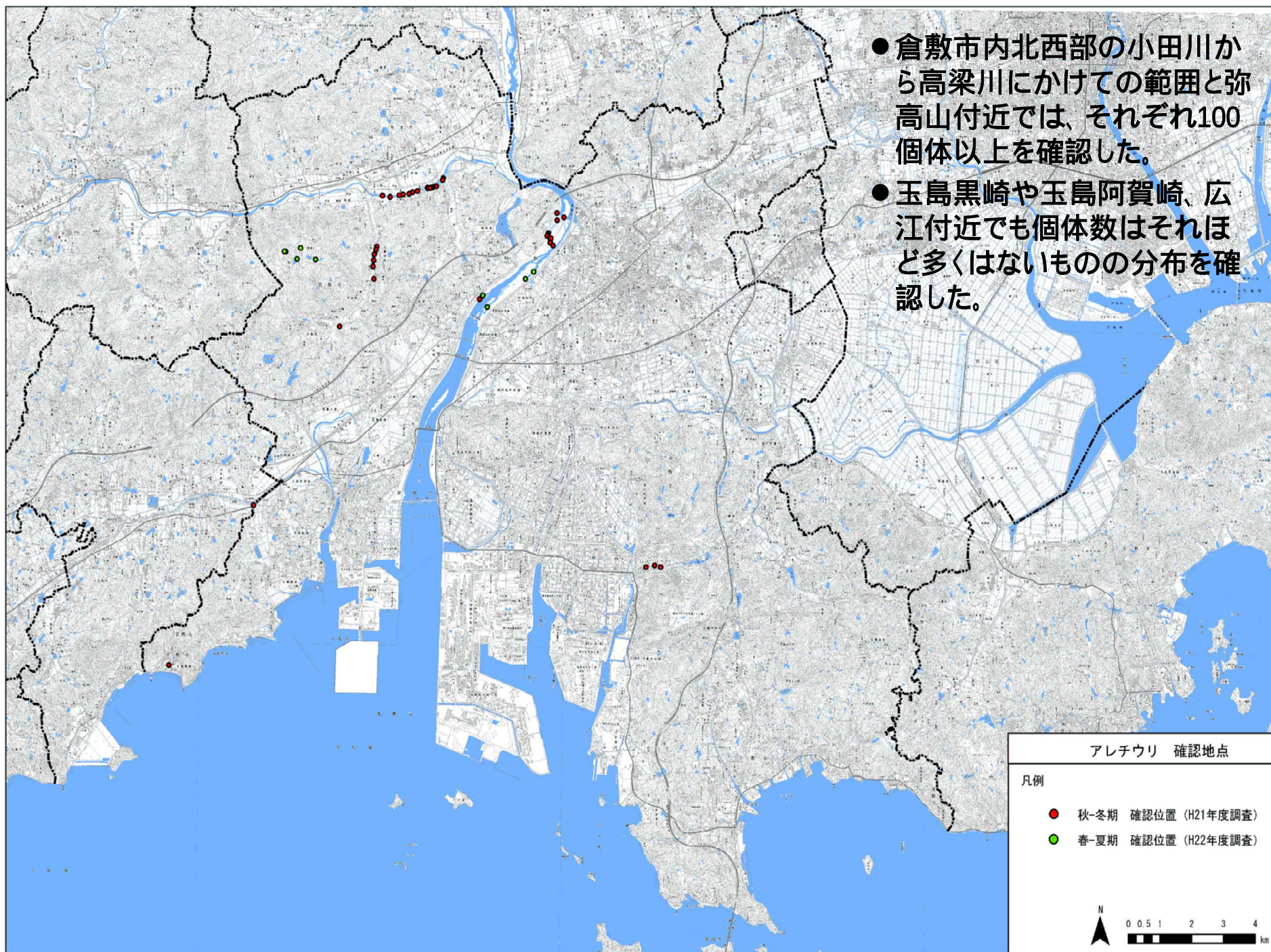
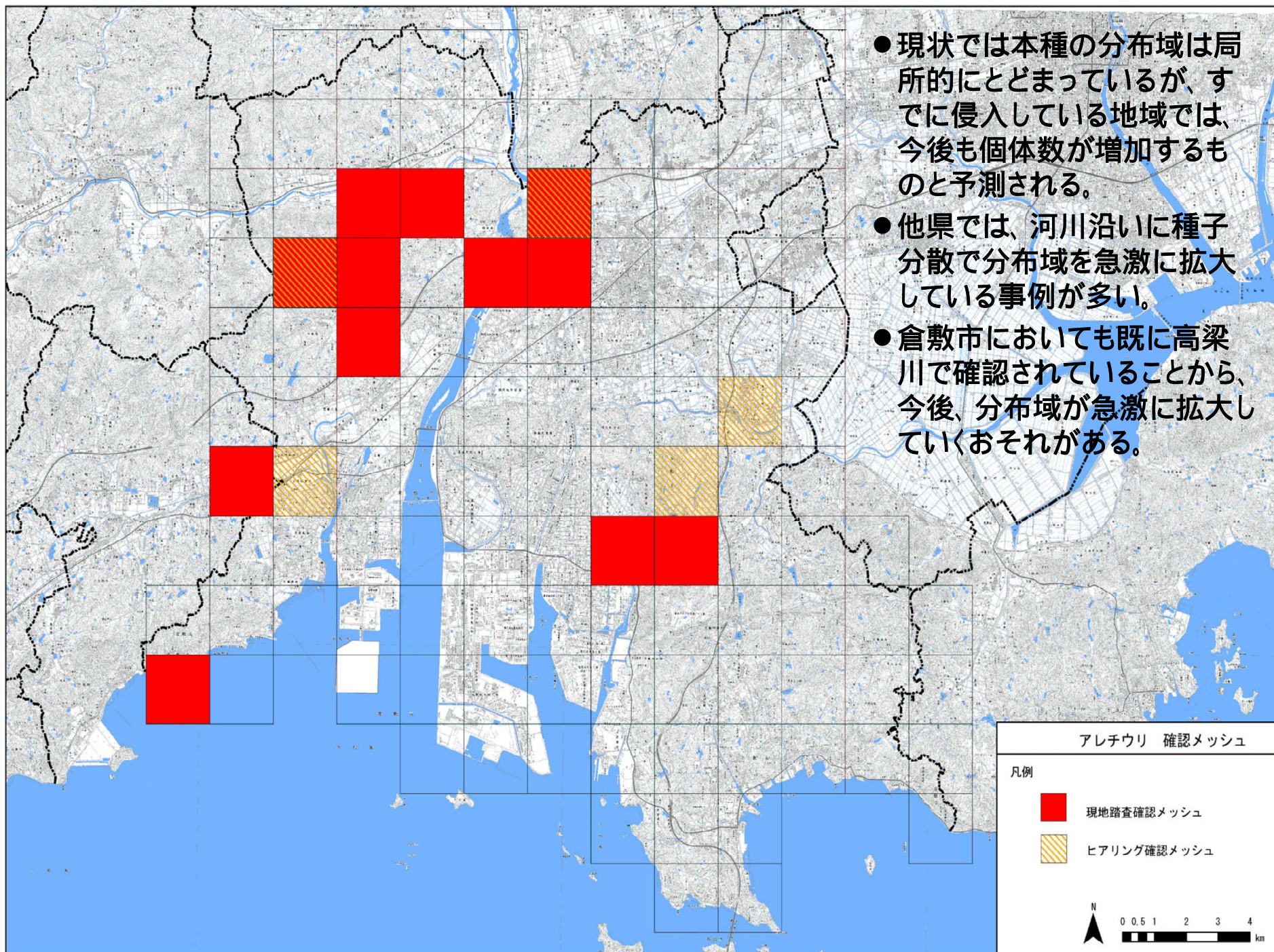


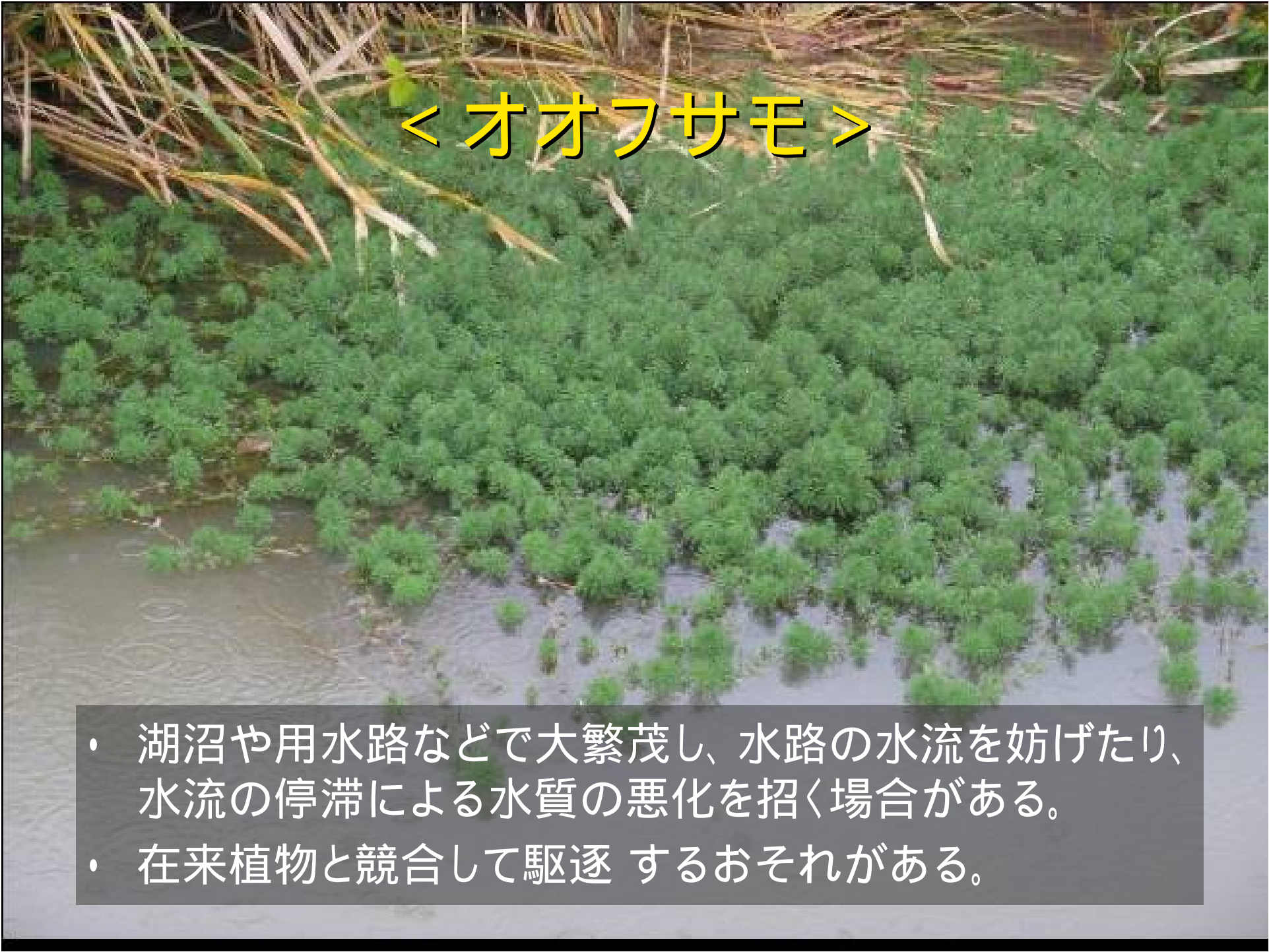
< アレチウリ >

- 全国の河原や林縁で大繁茂し下層の植物を覆いつくすことから、在来生物との競合、駆逐が懸念されている。
- 飼料畑でも大発生して農業被害が生じている。





- 現状では本種の分布域は局所的にとどまっているが、すでに侵入している地域では、今後も個体数が増加するものと予測される。
- 他県では、河川沿いに種子分散で分布域を急激に拡大している事例が多い。
- 倉敷市においても既に高梁川で確認されていることから、今後、分布域が急激に拡大していくおそれがある。



< オオフサモ >

- 湖沼や用水路などで大繁茂し、水路の水流を妨げたり、水流の停滞による水質の悪化を招く場合がある。
- 在来植物と競合して駆逐 するおそれがある。

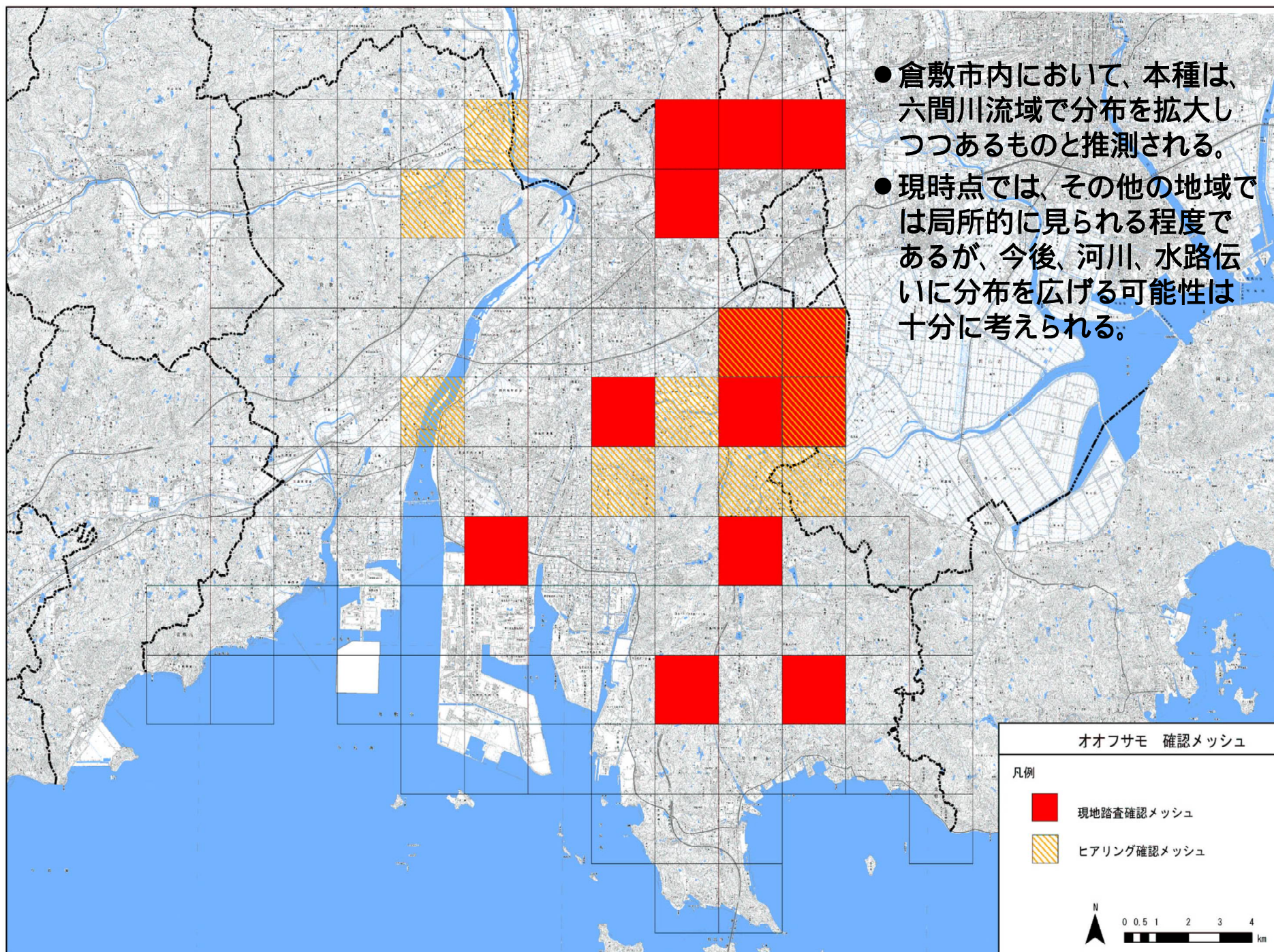
●吉岡川、六間川流域を中心に、計32地点でオオフサモを確認した。

オオフサモ 確認地点

凡例

- 秋-冬期 確認位置 (H21年度調査)
- 春-夏期 確認位置 (H22年度調査)

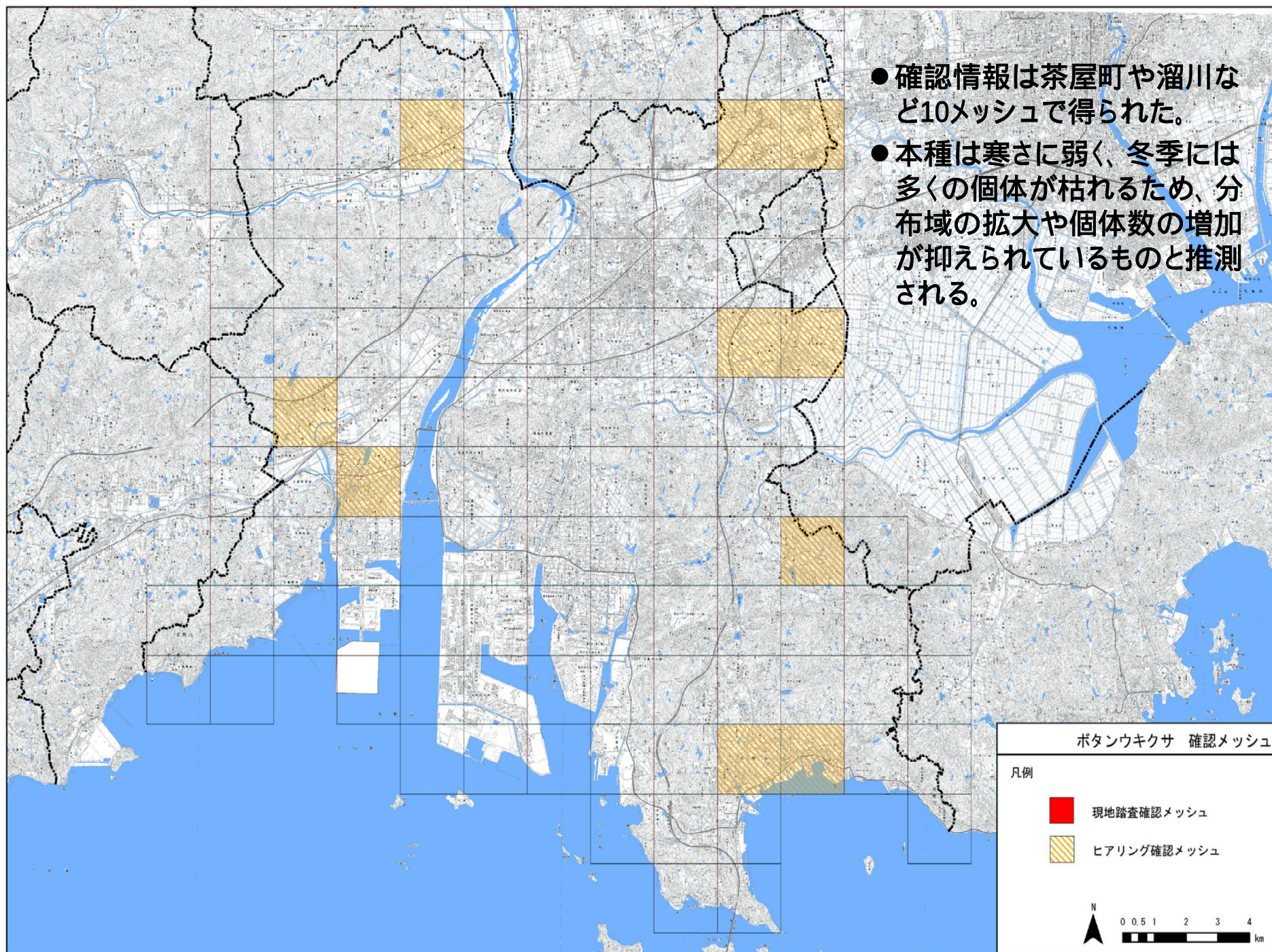




< ボタンウキクサ >



- 水路や湖沼の水面での大繁茂し、水中の酸素や光が不足して他の植物が生育できなくなったり、魚介類に影響を及ぼしたりしている。
- 水路の通水障害も引き起こす。

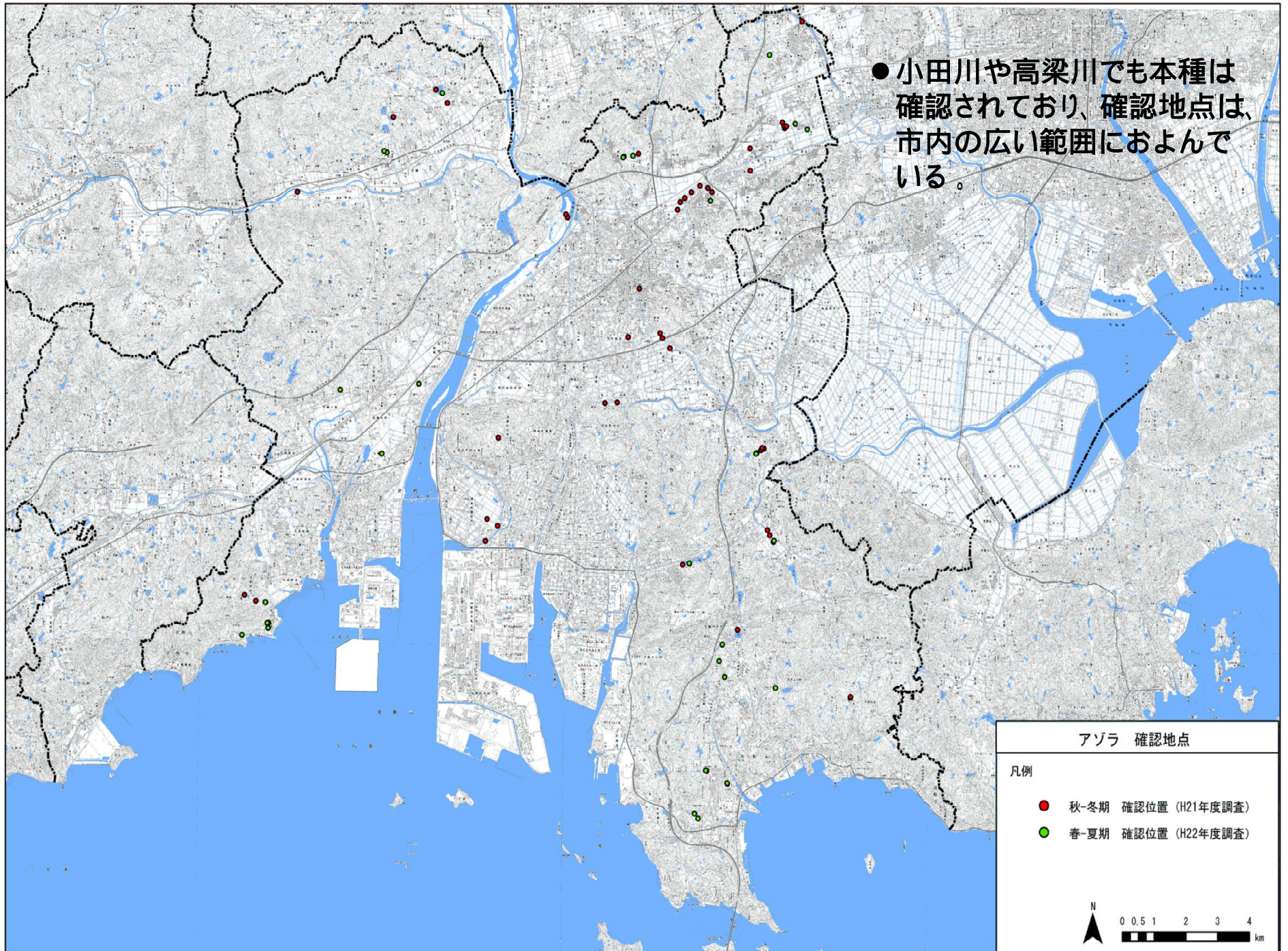


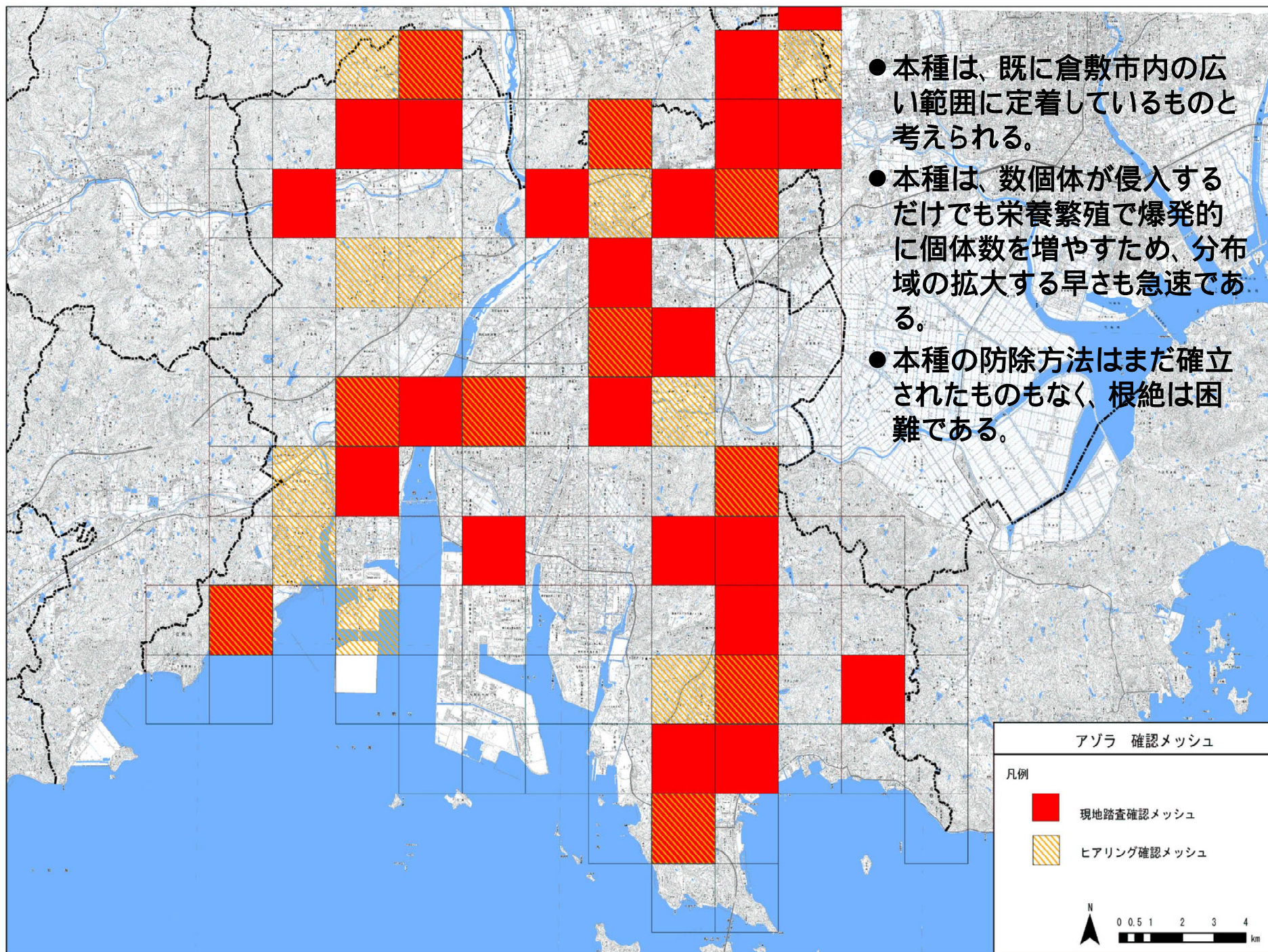
< アゾラ >



- 水面を覆い尽くして光を遮るので水生生物全体への影響が大きい。
- 絶滅危惧種のアカウキクサやオオアカウキクサなどを含む在来種と競合し駆逐するおそれがある。

●小田川や高梁川でも本種は
確認されており、確認地点は、
市内の広い範囲におよんで
いる。





- 本種は、既に倉敷市内の広い範囲に定着しているものと考えられる。
- 本種は、数個体が侵入するだけでも栄養繁殖で爆発的に個体数を増やすため、分布域の拡大する早さも急速である。
- 本種の防除方法はまだ確立されたものもなく、根絶は困難である。